

	内容	回答
	<p>図書館での障がい者サービスについて、最終行に読書要求に応えますと書かれていますが、肢体不自由児等の障がいは、交通手段の確保とかできればいいのですが、視覚障がい者の方への読書要求に応えることが非常に難しいところがあると思う。現時点では図書館では点字書籍というものを結構置いているのでしょうか。もしないとしたら、読書要求に応えるということで、今後点字に訳された書籍を増やしていくというようなことが、視覚障がい者に対しての具体的な取り組みになると思いますが、いかがでしょうか。</p>	<p>点字図書の状況については、別途確認をし、回答します。現在の取り組みとしては、高齢者や、見えにくい方向けに、字の大きな図書を用意したり、必要に応じて交流手段のない方のために、配達をして本を届けていたりしています。</p> <p>（点字図書の状況） 白井市に点字図書の所蔵はありません。寄付されたものが数冊、図書館内で閲覧可能です。</p>
	<p>視覚障がいのある人に対して、図書については、点字が読めなくても、音声訳があると思うので、そのことをもっと市民に情報発信してもらいたい。高齢になって読み書きが難しくなってきた人たちでも、音声だったら聞けることがあると思います。</p>	<p>（音声図書の状況） 白井市図書館には、大活字本や録音図書があります。デジタル図書（^{デージー}DAISY）や点字図書は所蔵していませんが、白井市図書館にないものは、全国の図書館から取り寄せることができます。また、デジタル図書を再生する機会の貸出（図書館・自宅）を行っています。</p>

※DAISY(デージー)は、視覚障がいのある人や小さな文字や印刷物を読むことが困難な方のために制作されるデジタル図書で、世界で広く使われています。(国際標準規格)
読み上げと同時に、文字や画像が表示されたり、読み上げている部分がハイライト表示され、読んでいる箇所がわかりやすくなります。キーワード検索やブックマーク機能もあり、途中から読んだり、気になる箇所を探しやすくなっています。